

# No.17 キーワード： 側条施肥、温湯種子消毒

(有)中井農産センター  
埼玉県吉川市  
<http://www.nakai-nousan.com/>

## 基本情報

- ・ 気候 太平洋側気候
- ・ 土質 泥炭土
- ・ 従事人数 役員3名、社員5名  
常時雇用9名
- ・ 飼料用米の作付開始：H23年産

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	90ha	10a
飼料用米(移植)	10.4ha	10a



飼料米収穫



堆肥散布



埼玉型ほ場整備(畦畔除去)

## 経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- ・ 市場性、作業性を重要視、機械化が可能な作目を選定
- ・ 取引先の要望を重要視、契約栽培が中心
- ・ 収量・品質の安定した品種導入と低コスト資材の活用
- ・ 経営面積の拡大に伴い社員を雇用、6次産業化部門を充実させており、加工部門は  
通年雇用

## 稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

- ・ 肥料
  - ① 側条施肥による施用量を削減するとともに、生産者グループが連携した大量購入による肥料費の低減
  - ② 飼料用米や多収米(ハイブリッドライス)等には、鶏糞やリサイクル肥料(食物残渣+粃殻)を施用
- ・ 農薬
  - ① 県基準の半分以下の使用
  - ② 基本は、温湯消毒+箱施用+除草剤のみ
- ・ その他
  - ① 大型高性能機械の活用(トラクター、田植機、コンバイン等)による省力化を実現
  - ② 自社ミニライスセンターによる乾燥・調製作業の効率化

## 導入効果

- ・ 施肥  
肥料費▲約3割  
労働時間▲約1割  
(鶏糞及びリサイクル肥料・側条施肥と全層施肥との比較)
- ・ 防除  
農薬費▲約3割  
労働時間▲約1割  
(県基準の14または12の使用回数と比較して)

## 支援体制

- ・ 県農林振興センターやJAから情報提供
- ・ 市単独認定農業者補助事業等の活用
- ・ 地域の協力体制
- ・ 他の法人や大規模農家連携による畦畔除去や面的集積の推進

## 課題・今後の目標

- ・ 高温障害対策(品質の安定化)
- ・ 中間管理機構を活用した面的集積の推進。区画の拡大による作業の効率化
- ・ 生産者グループによる大量共同購入の強化